

2024年5月21日

各位

(公社)日本鑄造工学会 東海支部
鑄造先端プロセス研究部会
部会長 田村 卓也

第107回 鑄造先端プロセス研究部会の御案内

拝啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

今回は、「ハイエントロピー合金における熱力学(状態図)計算と研究開発」を主テーマとして開催したいと考えております。万障お繰り合わせの上、御出席下さいますようお願い申し上げます。また、ぜひご興味がありそうな方への社内展開を行って頂ければ幸いです。

敬 具

記

日 時 2024年6月21日(金) 14:00~16:30
場 所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)13階 1308会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38
開催方法 名古屋ウインクあいちを拠点にWeb会議(Teams)を開催致します。
会議室参加 もしくは Web参加 をご記入ください。 Web参加の方には6月20日(木)午後に招待メールを送付いたします。アクセス可能となる時間は当日の13:00~です。

議 事 テーマ「ハイエントロピー合金における熱力学(状態図)計算と研究開発」

14:00~14:05 部会長挨拶、事務局連絡

14:05~14:50 基調講演 「Thermo-Calc を用いた高エントロピー合金の合金設計」
兵庫県立大学 竹内 章 先生

熱力学計算ソフト Thermo-Calc を用いて高エントロピー合金を設計する手法に関して紹介する。

14:50~15:00 休憩

15:00~15:45 基調講演 「従来の熱力学データベースに無い物質を検討可能な
AIMP、AIOQ データベースの開発」
株式会社 計算力学研究センター 佐々木 崇宏 氏

熱力学計算ソフト FactSage において、第一原理計算結果データベースと機械学習を組み合わせ、従来の熱力学データベースに収録されていない物質を検討することが出来る AIMP、AIOQ データベースの開発を紹介する。

15:45~15:55 休憩

15:55~16:40 基調講演 「ミディアムエントロピーCuAlZnMg 合金の高温変形特性」
宇都宮大学 高山 善匡 先生

高エントロピーを意識しつつ構成元素として Cu, Al, Zn, Mg という 4 元素を用い、軽量かつ高強度と高延性を持つ複合組成合金を開発することを目指し、高温変形による組織制御の可能性を調べるため、鑄造合金の高温変形特性を系統的に調査した研究を紹介する。

16:40~16:45 その他

追伸

研究部会終了後、皆様方の交流を深めるために情報交換会を開催いたします。積極的にご参加を頂き交流

を深めて頂ければ幸いです。

時間:17:00～20:00頃

場所:嘉文 センチュリー豊田ビル店

会費:1名 5,000円(当日申し受けます)

※E-mail、または、申込フォームにて、2024年6月20日(木)12時までにご連絡をお願い致します。

申し込み受付フォーム: <https://forms.office.com/r/LEje8BkBFT>

E-mail アドレス: M-c-sentan-ml@aist.go.jp

以 上